

横瀬町歴史民俗資料館 蔵出し展示

# よこぜのくらし

養蚕・製糸道具を中心に



2022年5月16日〔月〕—2022年9月23日〔金〕

会場：Living Anywhere Commons 横瀬・Area 898

主催：横瀬町歴史民俗資料館

協力：Living Anywhere Commons 横瀬・Area 898

都合により、展示内容を変更する場合がございます。

横瀬町HP



歴史民俗資料館

横瀬町はかつて秩父織物産地の一翼を担い、絹織物は町の発展と人々の生活を支えてきた重要な産業でした。今回の蔵出し展示では、織物産業に欠かせなかった生糸の生産に使用した道具や養蚕に関わる道具を紹介します。



糸枠 (横瀬町歴史民俗資料館所蔵)



そろばん  
(横瀬町歴史民俗資料館所蔵)



繭  
(横瀬町歴史民俗資料館所蔵)



繭かき (横瀬町歴史民俗資料館所蔵)



竿ばかりのおもり  
(横瀬町歴史民俗資料館所蔵)

秩父地方に養蚕が伝えられたのは、7～8世紀頃といわれています。江戸時代には、幕府の奨励に加えて、江戸に近いことや山村農業の特性から、秩父のほぼ全域にわたって行われていました。

横瀬では年貢米に替わる現金を得るため、早くから農家の副業としての養蚕が盛んになり、養蚕から糸とり、そして織物と一貫した家内手仕事で行われました。後に、製糸業・織物業に分かれ、機械生産となっていきました。

織物産業に関わる道具については、横瀬町歴史民俗資料館の常設展示室で詳しく展示していますので、併せてご覧ください。



横瀬町歴史民俗資料館 常設展示室

〔お問い合わせ〕横瀬町歴史民俗資料館

〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬2000番地

TEL: 0494-24-9650 FAX: 0494-24-9690

開館時間: 午前9時～午後4時30分 (ただし入館は午後4時まで)

休館日: 月曜日 (ただし祝日の場合は翌日)、国民の祝日、年末年始 (12月28日～1月4日)

入館料: 一般 [高校生以上] 200円 (160円) 小中学生 無料 ※ () 内は20名以上の団体

交通: 西武秩父線 横瀬駅下車徒歩7分

西武観光バス正丸線 西武秩父駅発 松枝または根古屋行き、「横瀬公民館前」停留所下車

Living Anywhere Commons 横瀬・Area 898から徒歩1分